第２回再生医療等研究者向け教育研修会

先端医療開発における患者・市民参画を考える

2027年 1月9日（土）13:30～16:30（13:00開場）

形式 現地、WEB配信（ハイブリッド開催）

会場 APイノゲート大阪11階　Room D

大阪市北区梅田３丁目2–123 イノゲート大阪 11階

再生・細胞医療・遺伝子治療の研究が進む中で、社会との関係性や倫理的な視点がますます重要になっています。
本研修会では、再生・細胞医療・遺伝子治療の研究に携わる研究者と、倫理・社会共創分野の専門家・支援者が集い、制度や患者・市民参画、社会受容などをめぐる課題を共有しながら、「倫理・社会共創とは何か」を改めて学び、考える場をつくります。
今回は「先端医療開発における患者・市民参画を考える」をテーマに、有識者からご講演をいただき、パネルディスカッションで議論を深めます。皆様のご参加をお待ちしております。

募集人数 100名（現地）、500名（WEB）
※いずれも先着順

申し込み締め切り 2027年1月6日（水）

対象 AMED再生・細胞医療・遺伝子治療実用化プログラム採択研究開発課題に従事する研究者、倫理・社会共創の研究者及び支援者並びにこれらの活動に関心のある者等

参加費 無料

申し込みフォーム
https://form.jotform.com/262721539845465

プログラム

13:30	開会挨拶 「AMED再生C課題：倫理・社会共創支援の活用法」 神山圭介（慶應義塾大学）
13:35	「自由診療の問題・再生医療法の課題を踏まえて研究者に期待されること」 一家綱邦（国立がん研究センター）
14:00	「患者・市民参画とはーその理念と広がりー」 古結敦士（京都大学）
14:25	「iPS細胞を用いたパーキンソン病治療」 髙橋淳（京都大学）
15:00	休憩
15:10	パネルディスカッション「再生・細胞医療・遺伝子治療研究と患者・市民参画」 司会：神山圭介 指定発表：「AMED事業における「倫理・社会共創」の取組について」 勝井恵子（国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）） パネリスト：勝井恵子、一家綱邦、古結敦士、髙橋淳、飯島祥彦（藤田医科大学）、稲野彰洋（福島県立医科大学）
16:20	閉会挨拶 神山圭介
16:25	アンケート

主催：再生・細胞医療・遺伝子治療実現加速化プログラム　再生・細胞医療・遺伝子治療研究実用化支援課題　倫理・社会共創課題
後援：日本臨床薬理学会、日本再生医療学会、日本遺伝子細胞治療学会、日本臨床試験学会、日本生命倫理学会

問合せ先 再生医療等研究者向け教育研修会　事務局（CSセンター内）　TEL: 075-241-9620/ FAX: 075-241-9692　E-mail: saisei@cscenter.co.jp

RECET-e The Acceleration Program for Regenerative Medicine, Cell and Gene Therapies at the University of Osaka

国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 Japan Agency for Medical Research and Development